

不審なPDFファイルに関する注意喚起について

【概要】

不審なPDFファイルを添付したメールが送付される事象が発生しています。同様のメールが送付される恐れがあるので、Adobe Acrobat、Adobe Readerの最新バージョン(8.1.2)へのアップデートについて検討をお勧めします。

1. どのような脆弱性か

- (ア) 脆弱性のあるAdobe Acrobat、Adobe Readerを使っている場合には、ファイルを開くだけで不正なプログラムが実行されます。
- (イ) 不正なプログラムが実行されると、ユーザのキー入力情報を盗むキーロガー¹などを生成したり、攻撃者がシステムをコントロールできるBot²などが埋め込まれたりする恐れがあります。

2. 想定される脅威は

- (ア) キーロガーにより、入力するキー情報が外部に盗聴される。
- (イ) PCが攻撃者に乗っ取られ、内部の情報が漏洩する。
- (ウ) 内部のPCを踏み台として、庁内のネットワークを探索されるなどが想定されます。

3. なぜ、今、注意喚起なのか？

- (ア) PDFという形式のファイルを表示するAdobe Readerというソフトウェアは、フリーで配布されているものであり、改変が困難なファイル形式であることから、メール添付の資料、および、インターネットでの公開文書など、一般に幅広く利用されています。
- (イ) メールに添付される形で、本年2月に発見された脆弱性をつく不正プログラムが、送付される事象が複数観測されています。
- (ウ) 不正プログラムは、日々新たなものが作成されており、ウイルス対策ソフトでは検知できないものもあります。
- (エ) 一方、このソフトウェアは条件により自動アップデートがかからないことがあるため、現在でも多数の利用者が脆弱性をもつバージョンを使い続けていることが懸念されます。
- (オ) Adobe Acrobat、Adobe Readerのバージョンアップ作業は、PCで個別に実施する必要があるため、大変な作業量となることが想定されるため、早めにお知らせし対応をお願いするものです。

4. 対応は必須か

- (ア) 8.1.2へのバージョンアップについて検討することを推奨します。Adobe社のホームページにおいては、緊急度を高く設定しており、バージョンアップの適用を推奨しています。
- (イ) 設定によって回避する方法もあります(後述)。その場合においても、将来的には、バージョンアップが必要となるため、それを踏まえ、今後の対応について検討をお願いします。

5. 今すぐ対応しなければならないのか？(いつまでに)

- (ア) 期限はありませんが、既に事象が発生しているため速やかに対応を検討いただくことが望ましいと考えます。
- (イ) バージョンアップ作業は、Adobe Acrobat、Adobe Readerが導入されているPCごとに対応する必要がある

¹ 入力を監視して記録するソフト。最近パスワードの盗聴などに悪用されている。

² コンピュータを悪用することを目的に作られた悪性プログラムで、コンピュータに感染すると、インターネットを通じて悪意を持った攻撃者が、あなたのコンピュータを外部から遠隔操作します。感染すると、この攻撃者があなたのコンピュータを操り「迷惑メールの大量配信」、「特定サイトの攻撃」等の迷惑行為をはじめ、あなたのコンピュータ内の情報を盗み出す「スパイ活動」など深刻な被害をもたらします。(サイバークリーンセンターホームページより：<https://www.ccc.go.jp/bot/index.html>)

あるため、多大な費用や作業量がかかることが想定されます。よって、対応が必要と判断される場合は、作業体制や、対応スケジュールなどの対応計画を策定し、実施いただくことが必要と考えます。

6. バージョンアップの方法は、

(ア) インストール可能な管理者権限を持つユーザで、ログオンします。

(イ) Adobe社のホームページからAdobe Reader 8.1.2をダウンロードし、インストールします。(Adobe Acrobat、Adobe Reader 7.XXを使用する場合は、2008年5月末にリリースが予定されているアップデートを適用します。)

* Adobe社から個別にアップデートファイルを提供いただいている場合、ダウンロードせずにバージョンアップすることも可能です。

7. バージョンアップ以外、対応方法がないのか？

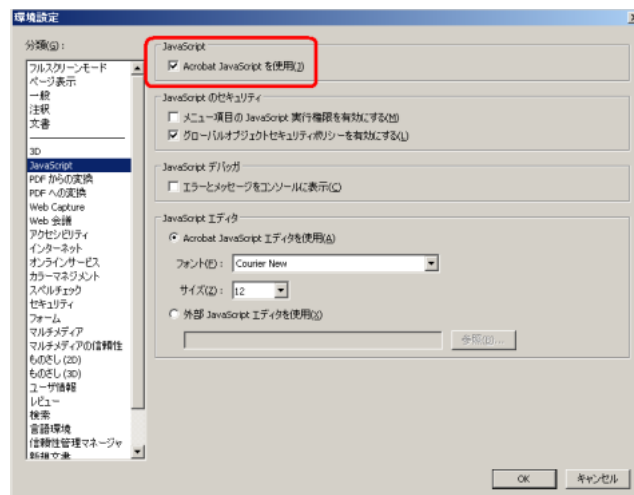
バージョンアップが最も望ましい対応方法ですが、システム環境等の制約によりバージョンアップが困難な場合には、回避策として、Acrobat JavaScript をオフにする方法があります。但し、この場合においても、バージョンアップと同様、全てのPCで対応をする必要があります。

①. Adobe Acrobat、Adobe Reader を起動します。

②. [編集] メニューから [環境設定] を選択します。

③. [分類] から [JavaScript] を選択します。

④. [JavaScript] セクションにある「Acrobat JavaScript を使用」のチェックをはずします。(以下の画面イメージは使用しているソフトウェアやバージョンによって異なります。)



⑤. [OK] をクリックします。

8. ウイルス対策ソフトをインストールしていれば問題ないのでは？

日々新たなウイルスが作成されるため、すべてを検知することはできない場合もあり、バージョンアップ等の対策をとることが望ましいです。

9. 脆弱性のあるバージョンは？

○バージョン8.1.1およびそれ以前のAcrobatおよびAdobe Reader

○バージョン7.0.9およびそれ以前のAcrobatおよびAdobe Reader

注：バージョン7.0.9は、本年5月末までにアップデートがリリースされる予定です。

10. バージョンの確認方法は？

Adobe AcrobatやAdobe Readerを起動して、[ヘルプ] メニューから [Adobe Acrobat (製品名) について...]をクリックします。

11. 参考情報

●Adobe ReaderとAcrobat 8のセキュリティアップデート公開

<http://www.adobe.com/jp/support/security/advisories/apsa08-01.html>

以上